

マコモの飼料化プロジェクト！

岡山県里庄町の農業従事者を維持し、持続可能な地域農業の発展を目指すため、耕作放棄地での「まこもたけ」栽培と従来は廃棄される茎葉を活用した「まこも飼料」の商品化を考察した。その際、輸入飼料の高騰で酪農家が打撃を受けていることを知り、地産地消の飼料を開発すれば、農家と酪農家の課題を同時に解決し、持続可能な地域発展に貢献できると考えた。

まこもの飼料の試作品開発の道のり

(令和3年度)

まこも栽培 (5月) → 持参したまこもの茎葉を細断 → 飼料作成風景 → 飼料サンプル (10月) → 成分分析 (11月) → 長尾研究員による特別授業 (12月)

まこも飼料の成分分析結果
タンパク質・食物繊維の豊富な栄養価の高い粗飼料

【協力】岡山農林水産総合センター畜産研究所

耕畜連携による循環型農業

まこも農家 ↔ 堆肥交換 ↔ 酪農家 ↔ 飼料 ↔ 肥料

隣接地域（笠岡市）は県内有数の酪農地

飼料高騰と肥料高騰（酪農家）
連携によって解決

11 気候変動に具体的な対策を
12 つぶやみ・持続可能な消費を
13 気候変動に具体的な対策を

試作ラップサイレージ制作 (令和4年)

【協力】酪農家 平野充生さん

まこもの茎葉を刈り取る → 自走式ロールペーラ → ロール状で排出される → 水分量調節のため乾燥 → ロールラップ機で三重に密閉 → 60日間発酵させる

耕作放棄地の農地機能の維持

農地を「水田」として再生

田んぼダムの役割 (貯水農地)

地域防災に貢献

11 気候変動に具体的な対策を
13 気候変動に具体的な対策を
15 陸域生態系の保護を

中学生対象 エコバック普及ワークショップ開催！



不織布バック(左)
布製エコバック(右)

飛沫感染を予防するボードを工夫する様子

野球道具を途上国へ寄付



寄付した野球道具
グローブ、バット
ボールなど、
総数…800個以上

寄付した国
32カ国

小さな支援が
世界の希望になる

『届けよう、服のチカラ』プロジェクト



ユニクロとUNHCR(国連
難民高等弁務官事務所)
世界の貧困国に衣類を
寄付することで、衣類を
リサイクルする活動

『フェアトレード』文化祭バザー



文化祭での
フェアトレード商品委託
販売

『全国の高校で骨髄バンクドナー登録会』の実現を！



白血病などにより骨髄移植が
必要な患者さんと、それを提
供するドナーをつなぐ事業



ボランティアアワード2022
特別賞を受賞
2年連続受賞